

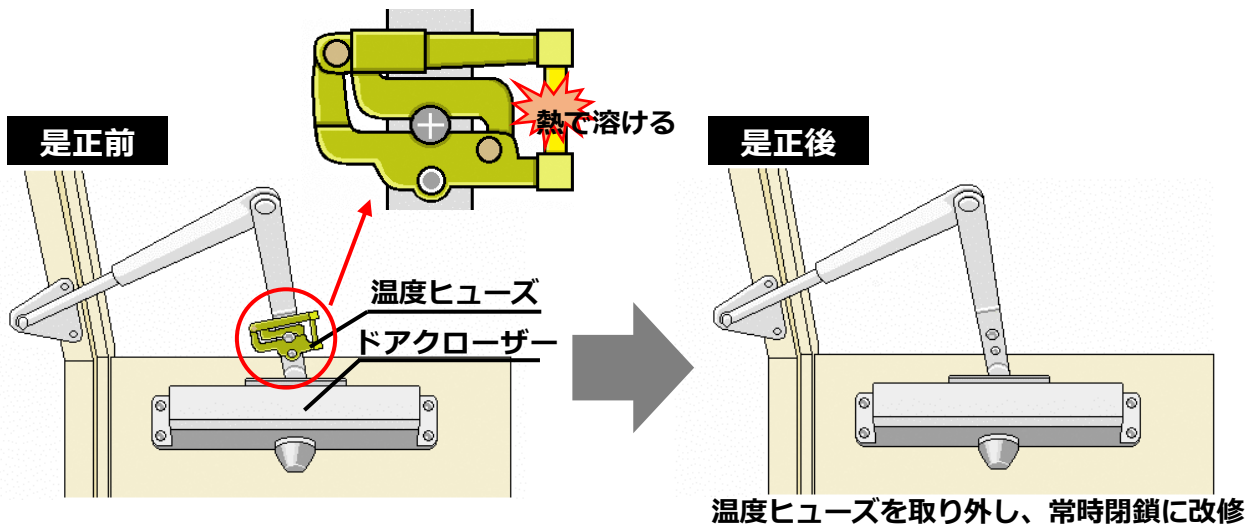
横浜市建築局から 違反建築防止に向けたご協力をお願い

「温度ヒューズ式防火戸って何!？」

災害時に安全に避難できるための重要な役割を果たす設備のうち、「温度ヒューズ式防火戸」について説明します。これらの設備を正確に理解し、建物を適切に管理し、より安全に利用していただければと考えています。

● 温度ヒューズ式防火戸とは？

建築基準法には火災時に火炎を遮断するための設備として、防火戸というものがあります。このうち、火災を感知すると閉鎖される防火戸には、煙感知式と熱感知式の2種類があり、熱感知式には、火炎の熱により感熱部が溶けてストッパーが外れ、自動的に防火戸が閉まる「温度ヒューズ式防火戸」があります。



● 温度ヒューズ式防火戸のままだと

階段周りに設ける防火戸には、常に閉められている防火戸と、火災発生時に煙を感知して自動的に閉まる防火戸のいずれかを使用します。煙は火炎より移動速度が速く、温度ヒューズが溶けて防火戸が閉まりきる前に避難経路内に煙が充満してしまうため大変危険であり、現在、新築・増改築等の際には使用が認められていません。

● よくある建築基準法の危険な事例

- ・温度ヒューズ式防火戸で、防火戸が閉まりきらず、煙が充満してしまった。
- ・温度ヒューズが老朽化や器具の破損等により機能しなくなった際に、くさび等で固定して開けたままにしていたため、火災時に閉鎖できなかった。

階段周り等の防火戸を是非ご確認いただき、温度ヒューズが使用されている際には、温度ヒューズを撤去し、常時閉鎖に改修すること等をご検討ください。改修内容や費用等でご不明な点は、建築士等にご相談するよう建物オーナーの方にご案内ください。

防火戸は火炎や煙を遮断し、延焼の防止や避難経路を確保する大変重要な設備ですので、皆様のご協力をお願いします。

お問合せ先

横浜市 建築局 違反对策課 (045-671-3856)